

令和6年度 上半期 生活支援体制整備事業報告

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

総合相談・地域づくり推進係

係長 小川 史佳

協議体の開催状況

校区		稲築西	稲築東	碓井	山田	嘉穂
開催日	4月	11日(木)	18日(木)	17日(水)	23日(火)	15日(月)
	5月	13日(木)	16日(木)	17日(金)	28日(火)	20日(月)
	6月	27日(木)	19日(水)	21日(金)	20日(木)	26日(水)
	7月	11日(水)	23日(火)	1日(月)	23日(火)	22日(月)
	8月	21日(水)	20日(火)	中止	27日(火)	19日(月)
	9月	26日(木)	26日(木)	20日(金)	24日(火)	30日(月)
場所		口春公民館 西岩崎公民館	枝坂公民館 銭代坊公民館	あかつき、笹原、 西郷、琴平団地、 昭嘉公民館	白馬ホール、 山田生涯学習館、 木城集会所、 山田活性化センター	夢サイト、宮野、 具嶋、下牛隈、 足白、上牛隈 公民館
参加者数		65名+?	68名	51名	46名	50名+?

※中学校区毎の仕組みづくりを目指しているが、課題の共有や顔の見える関係づくりが難しいため、校区によって協議体の開催方法を工夫しています。

なつきちゃんにし

- 今年度から、課題に上がったことを解決する仕組みができるまで、一つの行政区で続けて協議体を開催しています。
- 口春行政区では、参加者のみなさんが日ごろから通っている病院やスーパーなどを目的地にしたバス新聞を作成しました。また、実際にバスに乗って嘉麻市役所に行き、デマンドバスの利用登録や嘉麻市高齢者交通支援証明書の申請などを行いました。
- 西岩崎行政区では、エリアが広く一人の民生委員では相談に十分応じられないことや、空き家から草木がはみ出して隣人が困っていること、交通事故の発生リスクが高い場所があること、高齢者が多いがつながりが希薄になっていることなどがあがりました。空き家の問題については、後日、行政区長と民生委員が自宅を訪問しました。
- どのような人に見守りが必要なのか、見守り方法やそのポイントなどを考えて、緩やかな見守りの啓発冊子を作ることとしました。

なつきちゃんひがし

- 今年度から、課題にあがったことを解決する仕組みができるまで、一つの行政区で続けて協議体を開催しています。
- 枝坂行政区では、前年度から高齢者の見守り活動について話し合っており、地図を見ながら、気になる方(14人)の話をしました。「どうしてその人が気になるのか」「現在は誰が声をかけているのか」「どのような方法で見守りしているのか」「誰も声をかけていない人には誰が声をかけるのか」「緊急連絡先の把握はどうするのか」などを話し合いました。枝坂行政区の見守り一覧表が完成したため、今後は見守りや声かけ活動を広げていくことになりました。
- 銭代坊行政区では、高齢者の一人暮らしが多く、孤独死が発生したことから、「どのような人に見守りが必要なのか」「緊急時にどう対応するのか」など、見守りの仕組みづくりについて話し合いました。行政区に加入する人は行政区長が、加入していない人は民生委員が中心となり、高齢者全員のあんしんカードを作成し、声かけや見守り活動に役立てることになりました。
- 年に1～2回開催していた時に比べて、気持ちと記憶が新しいうちに、続けて話し合うことができ、仕組みづくりにつながっています。参加者からは、「皆さんと話す中で自分事として考えられるようになりました。参加していない住民にも啓発できるチラシができてよかった」との声が聞かれました。

嘉麻い隊うすい

- 行政区毎に協議体を開催しています。
- 笹原行政区では、協議体からスタートしたラジオ体操やゲートボールが今も続いており、健康づくりや交流の場に役立っています。今後は、ふれあい・いきいきサロンの立ち上げに向けて話し合っていくことにしています。
- 下臼井西行政区では災害に備えた見守りについて、西郷行政区や琴平団地行政区では、「車いすでも市バスに乗れるようにしてほしい」「バス停の位置を変更してほしい」などの話題があがりました。
- 協議体を開催することに理解が得られなかったり、開催しても行政や社協への要望が強く、自分の目線で地域の課題を捉えたり、自分たちでできることを考える雰囲気になりにくい行政区もあります。そのため、住民のみなさんに、住み慣れた地域で生活するために必要な取り組みであることを理解してもらえるように、しっかり働きかけていきたいと思えます。

あつとふるやまだ

- 参加者は、行政区長や民生委員が中心で固定化されています。一つのテーマを続けて話し合うことはできていますが、新たな課題や個別ニーズの把握が難しく、マンネリ化しています。
- 木城行政区で初めて協議体を開催したところ、通院や買い物のための移動やちょっとした困りごと、ご近所さんとの関係などいろいろな話を聞くことができました。特に移動手段については、「バスの便が少ない」「デマンドバスの使い方がわからない」と思っている方が多かったため、続けて話し合いをしていこうとの機運が高まりました。
- 山田校区では民生委員児童委員協議会と連携し、あんしんカードの拡充に努めています。協議体では、あんしんカードだけでは補えない情報（内服薬やアレルギー、ペットのこと）や、自宅がハザードマップエリアに入っていないか、近くの避難場所はどこか、入院時や避難時に準備しておくといよいものなど、対象者が自ら行動する際に役立つ冊子を作ってみることになりました。

嘉穂ますます会

- 参加者は民生委員がほとんどのため、日ごろの活動で困っている話を中心に、ほかの民生委員がアドバイスをすることで終わり、そこから地域課題として展開することが難しい状況が続いています。そこで、嘉穂校区を6つのエリアに分けて社会資源マップを作成し、住民のみなさんが相談できる機関や利用できる施設等を見える化することにしました。
- 新たに、ふれあい・いきいきサロンの代表者に働きかけて、サロンで協議体を開催しました。今までの協議体では上がらなかった、「後継者不足により、観光資源でもある果樹園が存続の危機にある」「オーダーメイドの家具屋さんやチーズ工房がある」など、新たな話題も上がりましたが、個別ニーズの把握には至りませんでした。
- 参加者に協議体の趣旨を理解してもらい、個別ニーズを引き出し、自分たちにできることを考えてもらえるように、内容を工夫していきたいと思います。

WinWin事業のとりくみ①

★就労的活動支援コーディネーターの役割

- ・民間企業や団体等と連携しながら、高齢者等が特技や経験をいかして社会参加ができるようコーディネートする

★活動に参加する方

- ・これまでの経験や特技などをいかして社会とつながりたいと思っている方
- ・自宅中心の生活から一歩踏み出したいと思っている方
- ・活動中の事故に備えて、社協でボランティア活動保険に加入

WinWin事業のとりくみ②

- 昨年つながった市内の誘致企業から、Aさんへの協力依頼がありマッチングしましたが、その他の新しい活動にはつながりませんでした。
- 今年度は、市内の社会福祉法人に、高齢者等の特技や経験を必要とする業務がないかを聞き取ることにしています。
- その中で、高齢者のデイサービスで工作等の活動や、雇用契約を結ぶ形にはなるが、送迎などをサポートしてもらえる人はいないかとの回答をもらうことができました。
- 今後も、本会のボランティアセンターとも連携して、地域の方々に事業への趣旨を啓発していきたいと思えます。